

2023 年度卒業試験（音楽実技）

発表者：松田 和（学校教育教員養成課程中等教育コース音楽教育専攻4回生）

卒業研究題目：M.ラヴェル作曲「ソナチネ」嬰へ短調、「水の戯れ」ホ長調

日時：2024年1月25日（木）18:30～

場所：愛媛大学教育学部2号館5階大演奏室

被推薦者は、中学校（愛媛）の教員採用試験に合格しており、卒業後は教職につく予定である。何事にも真摯に取り組む姿勢と新しいことに挑戦しようとする積極性や行動力もあり、学習アシスタント等の学校現場での活動・経験を通して、子どもに対する観察力を育み、教師への理解を深め、生徒指導力や学級づくりを行う力も着実に身につけている。大学4年間での学びを通して、音楽（とりわけピアノ演奏）において高い表現・技能を修得した。在学中には多数のピアノコンクールに挑戦し、ピティナ松山予選F級最優秀賞（2018）、日本バウハコンクール松山地区大会努力賞（2018）ピティナグランミューズ愛媛Yカテゴリー優秀賞（2021）、ピティナ連弾上級愛媛I予選優秀賞（2022）等を受賞している。

卒業研究では、フランス近代の作曲家モーリス・ラヴェルのピアノ曲を取り上げて、「ソナチネ」と「水の戯れ」のピアノ演奏を行った。古典主義的な様式に則って作曲された「ソナチネ」と、印象主義的な「水の戯れ」との対比、ラヴェル特有の和声変化と音の重なりがどのように音色と響きの質的变化に影響しているかに着目し、ラヴェル作品における色彩豊かな表現をピアノ演奏で具現化することを目指して演奏研究を行った。

（指導教員：福富彩子）